

通期の見通し

■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、地域紛争の拡がりや金融政策の変更など世界経済の先行き懸念に加え、国内では物価上昇の継続などに注意は必要も、個人消費の持ち直しや設備投資の増加など、景気は内需を中心に引き続き改善に向かっていくことが期待されます。

このような経済状況のもとで、企業は人手不足対策としての省人化投資、働き方改革関連法に伴う時間外労働の上限規制への対応に向けた業務効率化など、生産性向上や競争力強化を目的としたデジタル化の推進が求められています。また、IT市場においては、Windows 10サポート終了に伴うパソコンの更新需要も期待されるなど、企業のIT投資は底堅く推移するものと予想されます。

■お客様のDX推進への取り組みを支援

以上のような国内の経済状況やIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループでは、2024年度のスローガンである「お客様に寄り添い、DXでお客様と共に成長する」の

方針のもと、オフィスまるごとへの取り組みを更に進め、お客様の状況に応じたAIビジネスの強化を図り、お客様のDX推進への取り組みを支援してまいります。中でもデジタル化が遅れている中堅・中小企業のお客様に対しては、デジタル化の支援とともに、生産性向上やコスト削減を実現する付加価値の高いソリューション提案を行い、顧客満足度を高めてまいります。そのために、営業やサポートの活動を支援する各センター機能やお客様マイページ※など多様なチャネルを組み合わせ、お客様接点の強化を図るとともに、AI等の技術を活用した営業プロセス支援への取り組みを進めてまいります。また、ESG課題の解決とSDGsの達成への貢献に向け、ITを活用したサービスやソリューション提供を行ってまいります。加えて、人的資本の再強化を目的に進めている労働分配率の改善、オフィスまるごとに向けたマネジメント改革、AI人材の育成など従業員エンゲージメント向上へ繋がる取り組みを2024年度においても進めてまいります。

※ お客様マイページ=多くのお客様に便利なサービスをご提供することでお客様に寄り添い、Webでお客様との関係創りを進めるお客様ポータルサイト。

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、ドキュメントのデジタル化など生産性向上、競争力強化やコスト削減のニーズを見極めながら、お客様のデジタル化を進めるため、お客様に寄り添い、引き続き当社グループの強みである幅広い取扱い商材を活かした付加価値の高いソリューション提案を行います。

サービス&サポート事業では、「たのめーる」の競争力の強化に努め市場の拡大を図り、「たよれーる」の利便性を高め、お客様が安心して安全に事業活動を継続するためのサービス、お客様のIT人材不足を補完できるようなサービスの開発に努め、着実に売上高の増加に繋げてまいります。

■通期の業績予想

通期の連結業績予想は、2024年8月1日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当初の業績予想を上方修正し、以下となります。

売上高1兆550億円(前年同期比7.9%増)、営業利益695億円(前年同期比10.4%増)、経常利益705億円(前年同期比9.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益487億円(前年同期比2.6%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業6,835億円(前年同期比8.5%増)、サービス&サポート事業3,715億円(前年同期比7.0%増)。

売上高・利益計画

(単位：百万円)

	2023年 12月期	2024年12月期 (計画)	
	金 額	金 額	増減率
売上高	977,370	1,055,000	+7.9%
営業利益	62,959	69,500	+10.4%
経常利益	64,517	70,500	+9.3%
純利益※	47,448	48,700	+2.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

(単位：百万円)

	2023年 12月期	2024年12月期 (計画)	
	金 額	金 額	増減率
システムインテグレーション事業	630,185	683,500	+8.5%
サービス&サポート事業	347,185	371,500	+7.0%